

25年に1度 清水堂の千手観音御開帳について

平成30年8月16日（木）、清水堂（中里）の千手観世音菩薩立像が公開されます。この仏像は、25年に一度だけ御開帳する秘仏で、家内安全、招福開運、厄除けに靈験があるといわれています。

仏像の高さは135センチ、全長は152センチあり、鎌倉時代の作と推定されています。一説に、東大寺大仏の造立に大きく貢献した奈良時代の名僧・行基が、諸国巡行のときに彫刻した3体の仏像の一つと伝えられています。昭和44（1969）年には、市の文化財に指定されました。

御姿を拝観できる一生に一度あるかないかの大変貴重な機会です。また、堂内に掲げられた地獄・極楽の絵馬も見どころです。是非とも、御参詣ください

記

- 1 日 時 平成30年8月16日（木）
拝観時間 10:00～15:00
祭典法要 12:00～
花火大会 19:00～（予定） ※雨天順延
- 2 場 所 中里（谷田山）の清水堂（牧之原市坂部 4052）
- 3 主 催 清水堂奉賛会（代表者：清水堂総代 浅倉 哲）



— 清水堂 —



— 千手観音菩薩立像 —